

市民のひろば



☎857-8585(住所不要) 市役所秘書課広報係(☎1111)
Eメール hishok@city.sasebo.nagasaki.jp

広報 掲示板

広報紙に対してお寄せいただいたご意見などをご紹介するコーナーです。

「市民のひろば」のコーナーイラストについて、ご意見をいただきました

●9月号は茶色が多く、秋らしさを感じています。「市民のひろば」のコーナーイラストも、9月はイチョウなので、10月はもみじ、11月はススキというように、変えてみてはいかがでしょうか？きっと季節感が出ますよ。

(広報係から)

5月号から8月号まで同じイラストを使いましたが、9月号で色を茶色に変えたのを機に、秋のカットとして、イチョウのイラストを使っていました。今後はイラストと色とのバランスを考えながら、できる限り紙面に生かしていきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

広報 クイズ

はがきに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、11月23日必着でどうぞ。

- 問題① 希少な野生生物を記録した本を、「○○○データブック」といいます。
問題② 11月9～15日は、秋の全国○○予防運動期間です。
問題③ 東浜町の淀姫神社には、市内でも数少ない「極○林」が見られます。

「広報クイズ」の掲載ページについてのご意見

●県政だよりのように、クイズは最終ページがよい。ちょっと後で解こうと思うときなど、ページをパラパラめくらなくてすむ。

(広報係から)

「市民のひろば」は、市民の皆さんが集い、意見を交換し合う市民参加型のページとして、毎月8～9ページに掲載しています。「広報クイズ」は、クイズに参加していただきながら、広報紙へのご意見を伺う人気のコーナーです。

クイズの問題を見るために、ページをめくり返す手間がかかることのご指摘はごもっともです。しかし、市民参加型のページに欠かせないコーナーであることや、貴重なカラー面である最終ページには、できるだけ写真を使う記事を掲載している、などの理由から、現在は最終ページへの移動は考えておりません。今後紙面を見直す際には、参考にさせていただきます。

貴重なご意見、ありがとうございました。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書券をプレゼント。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※前回の答えは、①31 ②エコ ③健康 でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

※広報クイズのあて先は、「市民のひろば」の題字の下に、市役所専用の郵便番号を掲載していただきますのでご利用ください。また、抽選で記念品を差し上げるため、応募方法は不公平がないよう、はがきに統一しています。メールでの応募は受け付けておりませんので、ご注意ください。

ご意見有用

市政に対する建設的なご意見を、書面で郵送ください。郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書き、「ご意見有用」担当あてと明記してください。採用分には図書券を差し上げます。

Q 市のホームページを見る端末機の使用を表示してください

大黒町 熊谷齊子さん(62歳)

市役所やアルカス SASEBO に市のホームページを見るための端末機がありますが、大見出しを見るだけで、その内容を見たいと思ってもメカオンチで開くことができません。

使用方法を広報紙に掲載するか、現場に貼ってくださいますか。

A (企画調整課からの答え)

ご要望のことにつきまして、市役所1階、アルカス SASEBO、図書館にある端末機に取り扱い説明書を設置しました。

今後とも、利用しやすいよう努めていきますので、どうぞご利用ください。ご意見ありがとうございました。



市のホームページを見ることができる端末機(写真左)は、市役所正面玄関横の血圧測定器隣、アルカス SASEBO1階・交流スクエア、市立図書館一般室に設置しています。市民の皆さん、どうぞご利用ください。

市ホームページのアドレス

<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp>

熊本鎮台の石灯籠

(矢峰町)

11月10日、矢峰町岳下池そばの山上に祀られている琴平神社の秋の例祭が催されます。山深いこの地に航海安全の神様は珍しいのですが、簡素な社殿前に奉納されている石灯籠が、西南戦争が起きた明治10(1877)年に、西郷隆盛と激戦を展開した熊本鎮台第二歩兵連隊第二十四連隊第二中隊の寄進というのが興味を引きます。

この地の旧家である牟田正美さん(73歳)によると、琴平神社の氏子は60人。毎年秋と、春は4月10日に例祭を催し、家内安全、無病息災を祈願します。しかし、熊本鎮台とのゆかりは聞いたことが無いと話されました。



熊本鎮台は、明治5年に東京、大阪、仙台と合わせた四鎮台の一つとして設けられました。暗殺された長州藩(現山口県)の大村益次郎が、フランス兵制を参考に、国民皆兵の構想でつくった陸軍です。農家の二、三男を中心に徴兵制で3年の兵役を課し、組織的に軍事訓練をしました。佐世保一円からも鎮台兵となった人はかなりいました。

中里にいた種子島徹蔵氏は、幕末の弘化元(1844)年に生まれ、長州で砲術を学んだ縁で西南戦争に会計担当として出征、褒賞を受けました。後に、当時は村長と肩を並べる名誉職の郵便局長を務めました。

琴平神社の石灯籠が、個人ではなく中隊名なのが興味を呼びます。(筒井隆義)

